



**問** 自衛隊への名簿提供で、希望者の提供除外手続きを制度化せよ

津市が自衛隊に自衛隊員募集のための適齢者名簿を提供している問題で、令和5年度から提供方法が変更されているが、どのような判断で変更されたのか。また、18歳および22歳に達する市民は、自分の個人情報の提供を拒否することができるが、申し出があれば拒否できるということを公表しているのか。希望すれば自衛隊へ提供する名簿から除外される手続きの制度化を求める。

**答** 現状では手続きの制度化は難しいと考えている

法令等に基づく自衛官募集に係る名前等名簿の提供方法については、毎年、自衛隊と協議しており、より個人情報の項目が少なく、相手方に情報が残らない方法として、令和5年度から住所・名前のみを記載した宛名シールでの提供を行うこととした。

また、自衛隊への名簿提供の拒否については、ホームページ等で公表しているわけではない。名簿提供は、法令等に基づく法定受託事務として行っており、受託事務の内容そのものを変更してしまうような制度化は現状では難しいと考えている。

その他の質疑・質問

- 河芸地域の養鰻池埋め立て事業について
- 水道「広域化」について、県の「推進プラン」が出されたが、民営化と併せどう考えるか
- 日本各地で検出されている有機フッ素化合物（PFAS）について、広く調査を
- 文化ホール等施設において、保有するピアノの活用や市民参加型の事業の拡充を **など**

河芸公民館が保有するフルコンサートグランドピアノ「ベーゼンドルファー」



**問** 高齢者の移動手段の確保について問う

ご高齢の方々が運転免許証を自主返納しマイカーを手放しても安心して生活ができるよう、高齢者の生活者目線に立った移動手段の確保は最重要課題だ。現在開催している津市地域公共交通活性化協議会と地域公共交通あり方検討会では、どのような議論をしているのか。また、新たな移動支援策となるタクシー会社との連携も含めたデマンド型交通の導入に向けた議論の進捗状況は。

**答** コミュニティバスのより一層の利便性向上に取り組む

津市地域公共交通活性化協議会では、計画の策定やその評価等を行い、コミュニティバスのダイヤ改正や停留所の新設等の協議を行うなど、津市の公共交通全体の利便性向上を目指して協議している。地域公共交通あり方検討会では、地域の課題、その解決策等の協議を行い、津市地域公共交通活性化協議会へ提言する役割を担っている。また、令和8年度のコミュニティバスの次期再編を見据え、全国のデマンド型交通の運行方式や予算、課題等を調査・分析するとともにタクシー事業者やバス事業者と意見交換を行い、新たな形のデマンド型交通の導入を念頭に検討を進めている。

その他の質疑・質問

- こども・子育て政策の推進について
- こども基金について
- こども基金条例について
- うつ病・自殺防止対策について
- こどものうつ病・自殺防止対策は
- 悩みを抱える大人のうつ病・自殺防止対策は
- 「こころの体温計」アプリ導入について

メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」。結果をイラストで確認できる

